

2022年度 財政・経済セミナーの実施

財務総合政策研究所（以下「財務総研」）では、開発途上国に対する知的支援の一環として、1992年から財政・経済セミナー*15を実施しております。当セミナーは、東南アジア諸国の他、南アジアや太平洋地域を中心とした財務省等の若手幹部候補生を対象としており、これまでに、約500人を日本に招聘し研修を行ってきました。

2022年は、5月23日～6月1日の期間で、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響を鑑み、オンライン方式にて実施し、当セミナーに関心を示した、バングラディッシュ、ブータン、カンボジア、フィジー、タイ、ベトナムの計6か国の財務省等職員が参加しました。

今回のセミナーでは、研究者や専門家、財務省内部部局の実務担当者等による、財政・金融・税制の各分野の講義に加え、国際機関からゲストスピーカーを招いた講義も実施しました。また各政策講義に続いて、参加者出身国の経済・財政状況に関する発表の機会も設け、各参加者から現地の政府職員としての視点を交えて解説してもらいました。なお、このプレゼンテーション資料は財務総研HPにおいて公開しております*16。

参加者からは、「様々な分野から、財政政策策定において有益な知見を得ることができた」「(参加者のプレゼンテーションより)各国のCOVID-19への対処について非常に有益な情報を得ることができた」と全体を通して評価も高く、本セミナーの企画担当としては大変喜ばしく感じています。

財務総研ではコロナ禍においても、オンライン技術等を駆使した国際交流活動を実施してきました。今後の社会・経済情勢の変化にも柔軟に対応し知的支援業務を進めていきます。

〈財政・経済セミナー講義内容〉(順不同)

〈政策講義〉

- ・新型コロナ危機とアジア経済の課題
講師：河合 正弘
東京大学 名誉教授
環日本海経済研究所 代表理事・所長
- ・国際課税の最近の動向
講師：本田 光宏
筑波大学 大学院ビジネス科学研究群 教授
- ・日本経済について：概観
講師：上田 衛門
慶應義塾大学 商学研究科 教授
- ・公共支出管理：日本の経験と国際比較
講師：田中 秀明
明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授
- ・日本の金融財政政策
講師：吉野 直行
金融庁 金融研究センター センター長
慶應義塾大学 経済学部 名誉教授
- ・財務総合政策研究所の役割と研究活動
講師：小枝 淳子
財務総合政策研究所 特別研究官
早稲田大学 政治経済学術院 政治経済学部 教授
- ・Managing shocks through transformative DRM reforms
講師：Lesley Jeanne Yu Cordero
Senior Disaster Risk Management Specialist, World Bank
- ・日本の財政の現状と財政健全化の取組
講師：片野 幹
主計局 調査課 調査第七係長
- ・日本国債の発展と国債管理政策について
講師：山崎 寛一
理財局 国債企画課 課長補佐
- ・高齢化と税
講師：長谷川 悠
主税局 調査課 課長補佐

*15) 1992年に、現在の財政・経済セミナーの前身である財政金融長期セミナーが開始。2001年に財政経済長期セミナーへ改称。その後、2011年に現在の名称に改称。

*16) https://www.mof.go.jp/pri/international_exchange/technical_cooperation/sep2022.html

【所長挨拶の様様】



【参加者の経済・財政状況に関する発表（カンボジア）】

1.2 Cambodian Macroeconomic Performance (1): The economy is projected to pick up and continue to grow ...

- Cambodia's economy is estimated to grow by 3.0% in 2021 compared to -3.1% in 2020. Key factors include: (1). Herd immunity achievement, (2). Re-opening of socio-economic activities in late 2021 and (3). Stronger-than-expected external demand especially from US and China markets.
- In 2022, Cambodia's economy is estimated to pick up with the growth of 5.6%, supported by a continued momentum of external demand and a gradual rebound of investment sentiment as well as domestic economic activities as the pandemic situation is gradually ceased, garment, non-garment, tourism, and agriculture.
- In the medium term, 2023-2025, Cambodia's economy is projected to continue to expand with an annual average growth rate of 7% similar to the rate of growth in the pre-Covid-19 pandemic. This returning path of growth will be buoyed by a continued momentum of external demand and investment sentiment where the pandemic will be fully brought under control.



【財政・経済セミナー参加国】



(筆者作成)

プロフィール

財務総合政策研究所 前国際交流課企画調整係長
赤嶺 彰一

2009年に熊本国税局に入局。2014年から財務省で勤務しています。財務省では、主にG7等の先進国のマクロ経済情勢や金融政策動向についての調査などに従事してきました。2020年7月から財務総研で勤務しています。

財務総合政策研究所 国際交流課研究員
田中 祥司

2017年にリベラ株式会社へ入社し、総務部へ配属。2020年より財務総研の研究員としてインドの経済情勢等の調査・研究を行っています。



財務総合政策研究所 国際交流課係員
岩崎 智亮

2018年に東京税関に入関。2021年7月から財務総研で勤務しています。

